



Q 中2の息子は部活仲間によくいじられるようですが、いじめにつながることはないですか。

いじるのはいじめのグレーゾーンですから、そうならないためにも顧問に相談してください。

A

いじられる心理

仲よし友達や部活などの集団で、いじられている光景は、一見「仲がいい」ように見えます。けれども、その中の人間どうしの微妙な心理は、本人たちにはわかりません。もしかしたら言っているほうは、ストレスを晴らすためかもしれないし、言われているほうは「いやだな」と思いながら、笑ってやり過ごしているかもしれないのです。

そもそも「いじる」というのは、テレビのお笑いが市民権を得たもので、人をネタに笑いをとることです。笑いは人間関係の潤

滑油ですが、人をネタにするので、一歩間違えると相手を傷つけることになります。言われて不愉快そうになると、「冗談なのに怒っているの」と言われ、へまともに受け止めるおまえが悪い」といなされるのです。

教師の指導の影響は大きいです。友達をネタに笑いをとるような環境を作らない指導を、教員や保護者で共有したいものです。

本当の気持ちを引き出す

子供の中には、いじられて不愉快な思いをしても、そのコミニュティが「自分の居場所」だと

信じて、何をされても迎合している場合があります。そのときは、〈本当の自分の気持ち〉を引き出して、気づかせてあげることが必要です。「本当はどう感じているの」と。不愉快なら「いやだ」と相手に伝えられるよう、応援してあげてください。

予防線を張るのもいいでしょう。「自分はいじられるのが苦手なんだ」とか、「いじられている子が辛そうなんだよね」とか。軽い気持ちでいじる友達なら、気づき、反省するかもしれませんが。子供が自分にとって居心地がいいと感じられる場所を見つけれられるといいですね。